

三重県桑名市教育委員会

幼児児童生徒人口／総人口	11,138人/139,754人
医療的ケアを必要とする児童数	10人
医療的ケア看護職員数	11人

本事業の構想

本市小中学校に在籍する医療的ケア児は今後も増加傾向にある。巡回指導看護師が各校へ巡回指導等を実施するとともに、巡回指導看護師を含む関係者の役割を明確化した医療的ケアガイドラインを策定することで安全・安心で持続的な医療的ケアの実施体制の構築を目指す。

取組の概要

R4(1年目)	
課題等	本市の小中学校に在籍する医療的ケア児は増加傾向にあるとともに、ケアの内容も多様化・高度化しており、看護師の慎重な対応が求められている。しかし、看護師の人員確保は非常に難しく、さらに学校における医療的ケアを経験したことがない看護師がほとんどであるため、指導的な立場の看護師による現場研修の積み上げが不可欠である。
事業の目標	経験豊富な看護師を巡回指導看護師として配置し、経験の浅い看護師に対して医療的ケアに対する具体的な指導助言を行うとともに、「医療的ケア実施体制の整備に関する運営協議会」を設置し、「医療的ケアガイドライン」を策定し、安心安全な医療的ケア体制を構築する。
取組内容	経験の浅い看護師の資質向上を目指し、2名の巡回指導看護師が市内7校を巡回し指導を行う。各校在籍看護師の日常的なケアに対する不安や疑問を丁寧に聞き取り、巡回指導看護師から具体的に指導をおこなった。また、コロナ禍における看護師の突然の体調不良等の際に、巡回指導看護師が補充に入り、途切れることなく該当児の医療的ケアにあたった。「桑名市医療的ケアガイドライン」の作成に向けて、看護師による研修会・情報交換会を年間2回実施し、意見交流を行った。
成果	巡回指導看護師が該当校を巡回し指導助言を行うことで、看護師一人ひとりのケアの技術や資質の向上が見られた。また、教育と医療が連携してケアを行うことができるようになり、医療的ケアに対する教職員の不安が大きく改善した。看護師の休暇取得に際し、巡回指導看護師が補充でケアに入ることで、保護者の付添いの負担軽減にもつながった。巡回指導看護師が行った指導助言や医療的ケアの課題を客観的に分析することで、次年度作成予定の「医療的ケアガイドライン」に大いに活用できると考える。

医療的ケアの実施体制等

①教育委員会の取組

- ・巡回指導看護師による巡回訪問日程調整(毎月)
- ・「看護師研修会」の開催(8月、12月の2回)
- ・県教委主催「医療的ケアスキルアップ研修会」との連携(7月・8月)
- ・市教委主催 1型糖尿保護者交流会(7月・12月・3月)
- ・「桑名市医療的ケア運営協議会」の開催(6月・9月・1月の3回)

②医療的ケア児在籍校における取組

- ・巡回指導看護師による指導・助言・相談
- ・主治医訪問しケアの際の留意点等の指導を受ける看護師研修を実施
- ・保護者を交えてのケース会議
- ・教育委員会との連携・情報共有
- ・「医療的ケア安全委員会」「医療的ケア校内支援委員会」の実施(随時)
- ・「医療的ケア校内研修会」の実施(学期に1回)
- ・「桑名市医療的ケア運営協議会」に向けての準備

保護者の手作り教材 「血糖測定器」



医療的ケア運営協議会

協議内容

学校や保護者と連携した医療的ケア体制を構築し、より安心安全な医療的ケアを行うことができるように協議内容を踏まえた「桑名市医療的ケアガイドライン」を作成する。(年2回)

構成員

eケアネット代表(小児科医師) 桑名市総合医療センター小児科部長
 訪問看護ステーション代表 臨床心理士 特別支援教育士
 医療的ケアコーディネーター 巡回指導看護師2名
 医療的ケア児在籍校長2名 学校看護師代表2名
 桑名市教育委員会事務局人権教育課長 係長 担当指導主事

医療的ケア看護職員の雇用・配置方法

教育委員会に看護師を配置し複数の学校を巡回

<巡回指導看護師>

【看護師の配置方法】

- ・教育委員会に2名の看護師を配置し複数の学校を巡回

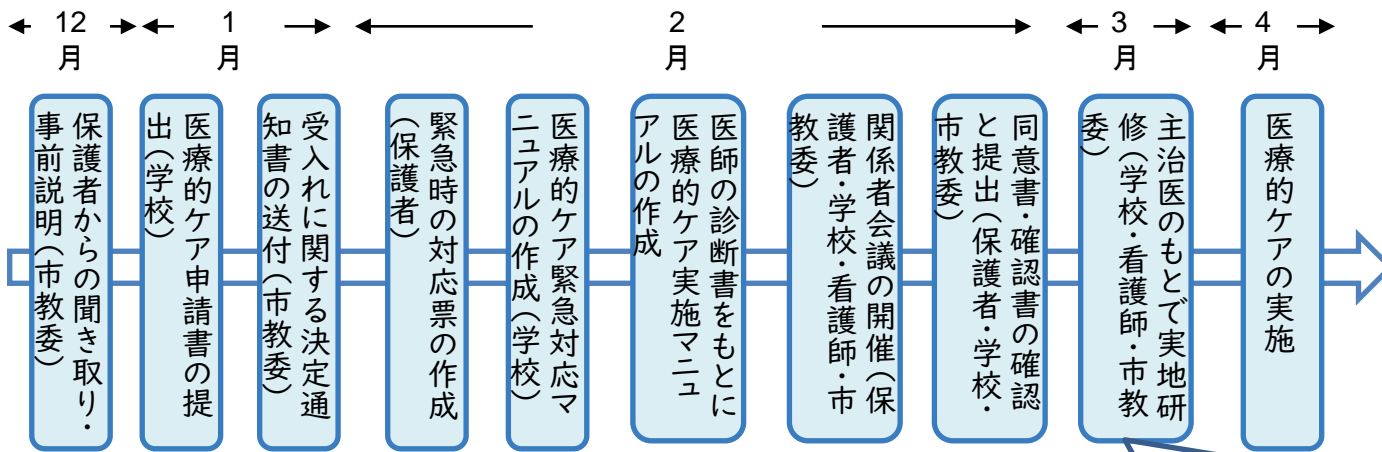
【雇用・配置に関わる取組】

- ・市の広報誌・ハローワーク・ナースバンクにより看護師を募集
- ・会計年度任用職員として配置
- ・勤務時間は、8時30分～下校まで。(平均1日6時間45分)
- ・学校看護師不在時は代替として巡回指導看護師が勤務
- ・人工呼吸器使用の児童と1型糖尿児童の2名が在籍する学校には学校看護師を2名を配置。1名は6時間45分、1名は週2回4時間勤務。

学校等における医療的ケアの実施に関する関係者の役割

教育委員会	主治医及び医療機関との連携 看護師等の研修の実施
教員	児童生徒等の健康状態の把握
養護教諭	研修会の企画・運営への協力 看護師等と教職員との連携支援
医療的ケア看護職員	医療的ケアの実施とアセスメント 主治医との連絡報告
巡回指導看護師	医療的ケアに関する指導・助言 看護師の休暇取得時に代替としてのケアの実施
主治医	本人や学校の状況を踏まえた書面による指示 学校への情報提供
学校医	学校への情報提供(看護師等や教職員との連携・管理職や看護師との面談など)
保護者	学校との連携・協力 定期的な医療機関への受診

医療的ケア児の受入れまでの主な流れ



医療的ケア保護者交流会の様子

学校看護師を対象に痰吸引時の注意点や低血糖時の対応法などの指導を受ける。

トピック

巡回指導看護師の定期巡回について

(学校の医療的ケア看護職員の声)

- ・「困りや心配事を相談できるので、心の支えになる」
- ・「経験豊かなお二人の視点からもケア児のことをみていただけて安心」
- ・「他の看護師さんの活動を聞くことによって取組の参考になる」

医療的ケアの実際

- ・気管切開による痰吸引 小学校 1名
- ・人工呼吸器の使用 小学校 1名
- ・血糖測定・インスリン投与 小学校 5名 中学校2名

巡回指導看護師2名が定期巡回し、看護師のケアに関する不安等を聞き取り、指導・助言を行っている。

看護師不在時には、巡回指導看護師が代替に入ることによって、本人や保護者が安心して医療的ケアを受けられるように体制を整えている。

《医療的ケアの理解につながる教材作成》

学校看護師と保護者が協力して、医療的ケアに関する紙芝居や動画などの教材を作成している。友だちが医療的ケア児を理解し、仲間として深くつながってきている。(右上写真)



成果・次年度の取組

- ・今年度の巡回指導看護師システムの成果と課題を整理し、次年度の改善につなげ、安全安心な医療的ケアシステムの構築に努める。
- ・「桑名市医療的ケア運営協議会」等において検討・協議し「桑名市医療的ケアガイドライン」を作成する。